



# オホーツク地域等公共交通利便増進実施計画（概要）

- ・北海道オホーツク地域（北見市・美幌町・津別町）では、広域交通においてバス路線間の重複がみられる。これらについて、競合を解消するとともに運行頻度の見直しを行い、運転手不足等による運行継続が難しい経営状況の改善に資する運行の効率化を図る。
- ・令和8年4月より、エリア一括協定運行事業を開始し、支援額を固定することで事業者の自助努力が促され、単年度補助よりも赤字が縮小されることが期待される。
- ・上記に加え、電子決済システムを導入しシームレスな利用環境の構築とサービス向上を図る。

## 事業の内容

### 事業Ⅰ 広域交通の最適化

- 広域幹線間の競合解消と運行頻度の適正化（イ）
  - ・北見美幌間の重複していた2系統を1系統に再編
  - ・美幌町内の重複していた3系統を1系統に再編
  - ・美幌津別間の重複していた2系統を1系統に再編
  - ・二重にリソースを割いていた、車両や人材、管理費用の削減

### 事業Ⅱ 公共交通のサービス維持、向上

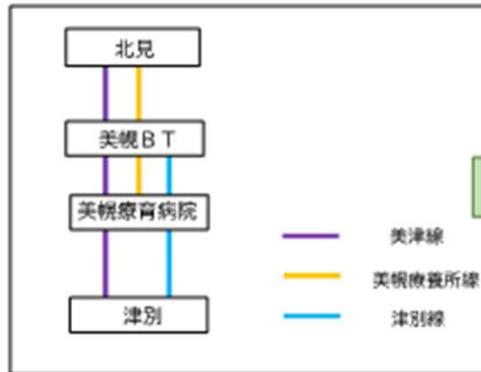
- ・美幌B Tで乗継の際に通し運賃を設定（□）
- ・新決済システムの活用によるシームレスな利用環境の構築
- ※新システムはスマホでチャージ、定期購入も可能



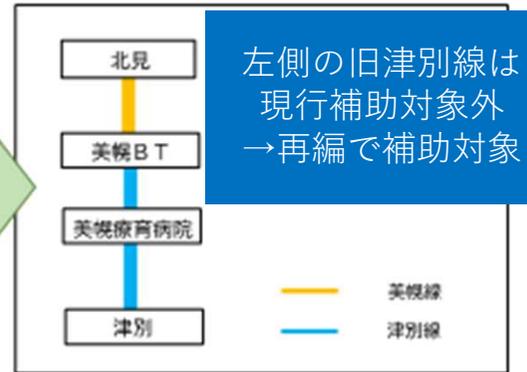
## エリア一括協定運行事業

- ・単年の欠損補助ではなく、計画期間中のエリア内の赤字路線等を全て一括で支援する協定
- ・自治体と事業者で上記協定を締結し、支援額を固定。国及び道は自治体へ補助を行う。（欠損が縮小しても補助額は維持）
- ・期間中に経営改善により生じた収益は事業者へ帰属

◆最適化前の運行路線（令和7年11月時点）



◆最適化後の運行路線（令和7年12月以降）



## 事業の効果

### 事業Ⅰ 広域交通の最適化

- ・平均乗車密度の向上（1.9人/日→**3.6人/日**）
- ・路線短縮による費用カットにより収支率向上（32.6%→**45.1%**）

### 事業Ⅱ 公共交通のサービス維持、向上

- ・通し運賃設定による従来通りの金銭負担
- ・新決済システム導入による乗車、乗継ぎサービスの利便性向上

#### 作成自治体

北海道、北見市・美幌町・津別町

#### 事業実施区域

北見市・美幌町・津別町

#### 事業実施予定期間

令和7年12月～令和10年9月

#### エリア一括期間

令和8年4月～令和10年9月

#### 実施事業者

北海道北見バス(株)